



## 10月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和4年10月1日

### 「実るほど頭<sup>こぶ</sup>を垂れる稲穂かな ~詠み人しらず~」

さくら組さんが植えた稲が収穫の時期を迎えようとしています。若い緑色の稲はまっすぐに天に向かってすくすくと成長し、やがて実を付ける稲穂に成長します。更に稲穂の中の実（お米）が成長してくると、そのしっかりとした実の重みで自然と稲穂の部分が垂れ下がり美しい黄金色になっていきます。その過程では、強い風雨にさらされたり、冷たい日や暑い日乗り越えたりしなければ、根っこのしっかりとした立派な稲に成長し豊かな実を付けることができません。この状態を人間に例えて、若い頃はまっすぐに上を向いて立派に成長し、色々な荒波や苦勞を乗り越え、立派な人格を形成した人物は、頭の低い謙虚な姿勢になっていくという意味として表現しています。これから子どもたちはたくさんの「水」や「養分」を取り入れながら、そして時には「風」を受けながら成長して参ります。優しく温もりのある心地よい風だけでなく、冷たい風、強い風もあるでしょう。時に思い通りにいかなかったり、我慢しなければならぬ時、心の根っこでふんばり、自分で頑張ったり、乗り越えていくこともあるでしょう。私たちは、その成長をしっかりと見極め、応援できる大人でありたいと思います。子どもたちがより良い自分へと、更に成長できるよう、ご家庭でもその根っこを支えていただければ幸いです。さくら組では、稲刈りをしましたら、苗を提供してくださった猪瀬様を通して、「ふる里の気」主催者であります箱崎様のご指導を頂き、脱穀作業を体験したりお正月飾りを作る予定です。

さて、1日（土）は運動会です。今年のテーマは『ともだち』～大丈夫！仲間がいれば強くなれる！！～です。ばら・すみれ組さんは、かけっこやダンス等、ニコニコ笑顔で行っております。これまでのこども園生活の中であそびを十分楽しんできましたので、この時期はお友だちと一緒にダンスをしたり、かけっこの競争をしたりすることが楽しいと感じられるのだと思います。今できていることが少し上達すると、子どもの自信に繋がっていきます。小さな体験の積み重ねが子どもを成長させます。運動会を通して、色々な体験が出来ると良いと思っています。また、さくら組さんは、リレーやパラバルーン、更には鼓笛隊や組体操は、仲間と心を合わせ、力を合わせてという部分が大きいのですが、この活動を通して、心も体もぐんと成長した様子が伺われます。仲間の刺激を受けながら育つということがあることをこれらの活動を通して感じています。今年度も昨年同様、感染対策にご協力をいただきながら、子どもたちの生き生きと活躍する姿をご覧いただければ幸いです。

また、土曜日通園の0・1・2歳児の皆様には、園の行事のために休園にご協力をいただきましてありがとうございます。もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組さんのミニ運動会の様子は、後日フェイスブックなどで動画配信させていただきますのでご覧ください。

これからも、今後の行事において、子どもたちにとりましては、これまでと変わらない活動や経験を積んでいきたいと考えておりますので、ご協力宜しくお願い致します。